



Lesson 6-1 PowerPointとのやりとり

keynote-study.com

【KeynoteとPowerPointとのデータのやり取りを解説します】

【POINT①：KeynoteとPowerPointのデータ互換性】

- ・ PowerPointデータは、Keynoteで開いて編集できます。
- ・ 逆にKeynoteデータは、PowerPointで編集できません。

【POINT②：MacとWindowsの対応状況】

- ・ Microsoft PowerPointは、Windows版・Mac版の両方を発売。
- ・ Apple Keynoteは、Mac版のみ。Windows版はありません。

【WindowsユーザーにKeynoteデータを渡す場合】

KeynoteはKeynoteで作成したスライドを、PowerPointデータ形式（.ppt）として保存が可能です。保存したPowerPoint形式（.ppt）を、そのまま渡せばWindows版PowerPointで閲覧・編集ができます。

【WindowsユーザーからPowerPointデータを貰う場合】

KeynoteはPowerPointデータに対応しています。WindowsのPowerPointで作成したデータを受け取ったら、そのままMacのKeynoteで開いて編集することができます。

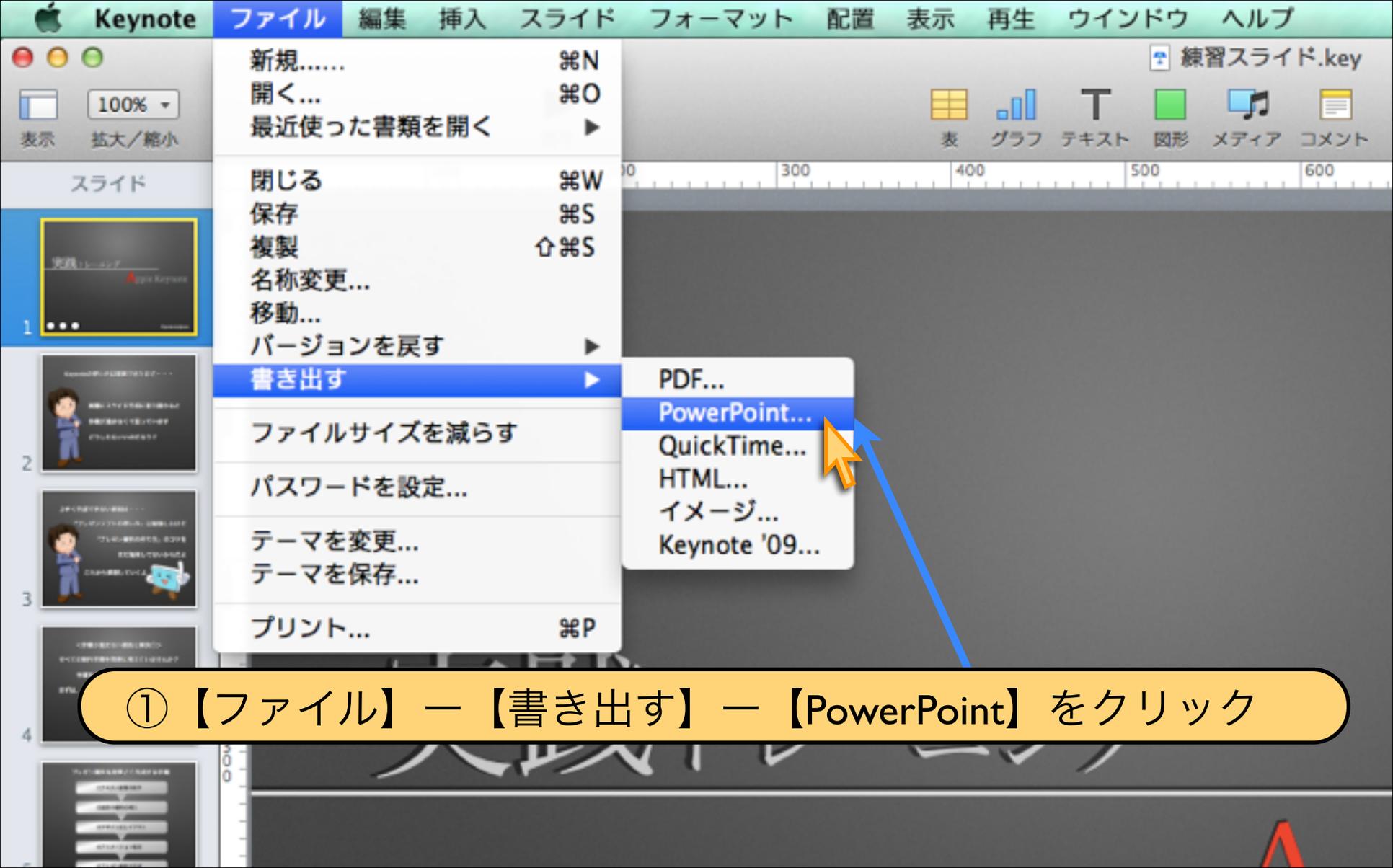
【KeynoteデータをPowerPoint形式(.ppt)で保存する方法】

①作成済みのスライドを用意しました

実践トレーニング

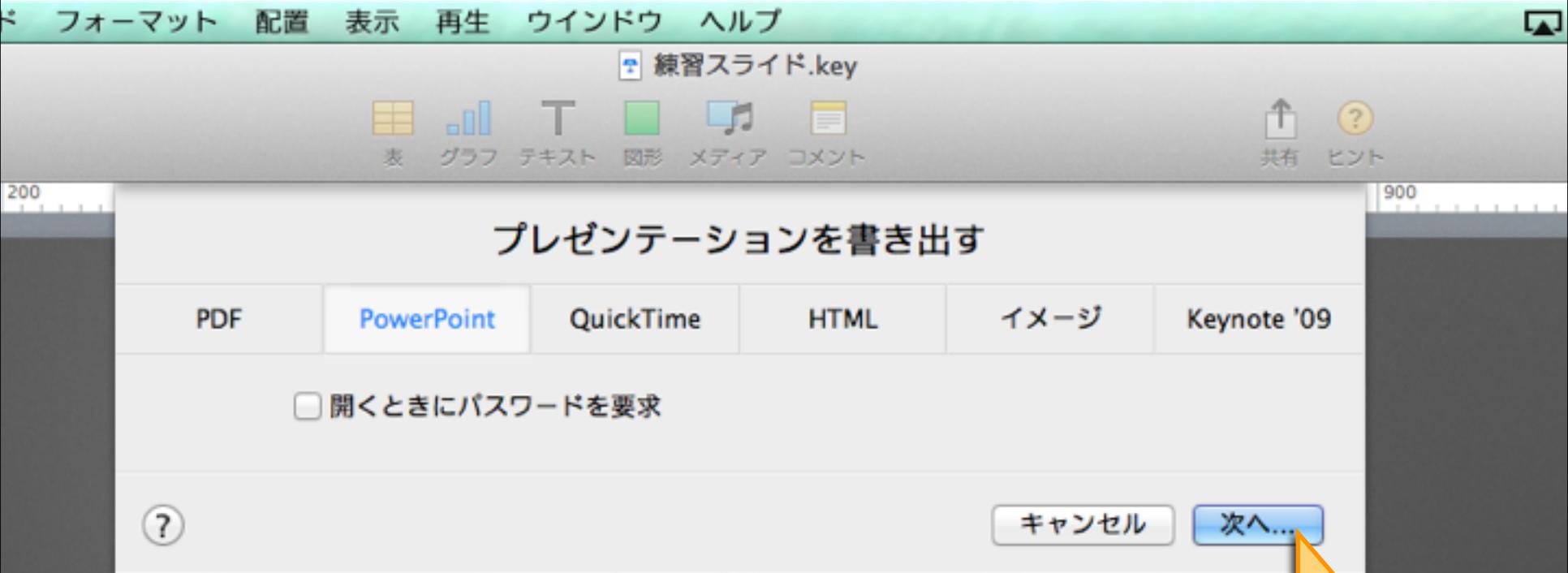
Apple Keynote

②このスライドをWindows・PowerPointユーザーへ渡して確認・編集をして貰う方法を紹介します



① 【ファイル】 — 【書き出す】 — 【PowerPoint】 をクリック

① 「プレゼンテーションを書き出す」 ウィンドウが表示されました



② 【次へ】 をクリック

① 「ファイル名」と「保存先」を指定します

名前: 練習スライド
タグ:

デスクトップ

よく使う項目

アプリケーション

デスクトップ

書類

ダウンロード

ムービー

ミュージック

ピクチャ

デバイス

新規フォルダ

キャンセル

書き出し

③ 【書き出し】をクリック



再生



表



グラフ



テキスト



図形



メディア



コメント



共有



ヒント



PowerPoint ファイルを作成中...



キャンセル

①PowerPointファイルが作成されていきます

②ウィンドウが消えたら、作成完了です

実践トレーニング

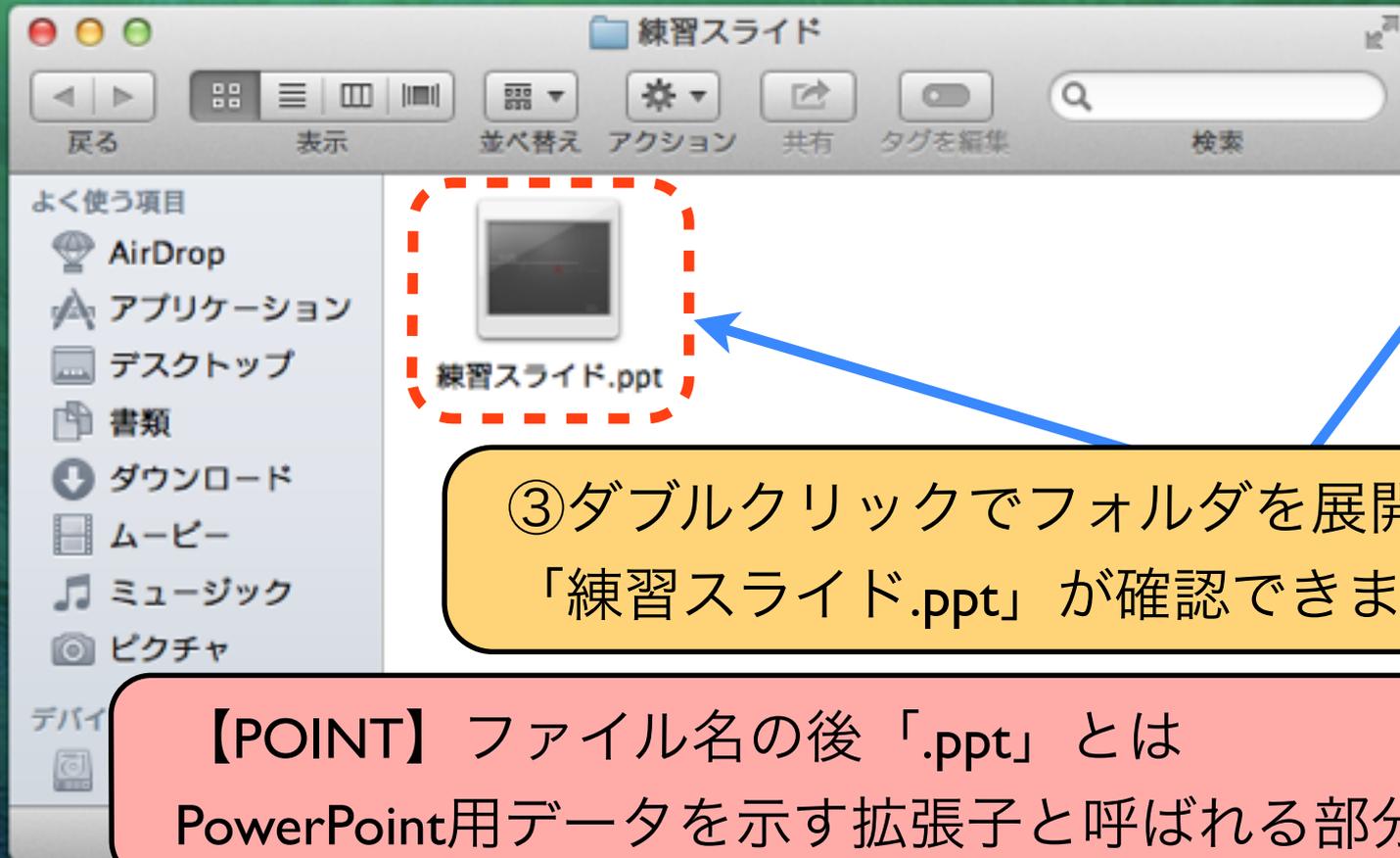
Apple Keynote

①デスクトップ画面を表示します

②フォルダが作成されています



練習スライド



③ダブルクリックでフォルダを展開すると「練習スライド.ppt」が確認できます

【POINT】ファイル名の後「.ppt」とはPowerPoint用データを示す拡張子と呼ばれる部分です

① PowerPoint用のデータ作成は完了です



②メールの添付ファイルでPowerPointユーザーへ送りましょう

【POINT】 データ容量が大きなファイルの場合
データ容量が大きくて、メールでは送信できない時には
「Dropbox」等の共有機能を使って渡すことができます

【KeynoteデータをPowerPointへ渡す時の注意点①】

【注意①：フォントの自動変換】

Macのキーノートで使用したフォントが、Windowsにない場合が多く、フォントが自動的に変換されます。

フォントが変換されてしまうと、スライドデザインの印象は随分変わってしまいます。

Macの【ヒラギノ明朝・ゴシック】フォントは、Windowsでは【MS明朝・MSゴシック】へ変換されます。

【KeynoteデータをPowerPointへ渡す時の注意点②】

【注意②：アニメーション効果が再現されない】
キーノートで設定したビルドやトランジションは
パワーポイントでは、殆ど再現されません。
キーノートに搭載されているエフェクトと
パワーポイントに搭載されているエフェクトが違う為、
自動的にエフェクトが変換されてしまいます。
アニメーション効果を重視する方は、覚えておきましょう

【データのやり取りと手直しのコツ】



KeynoteとPowerPointとの違いや注意点がわかると
Keynoteで概要を作成し、相手側（PowerPoint）で
確認や修正後、再びKeynoteエフェクトで仕上げる。
注意点を知っておくことでトラブルが防げます。



Lesson 6-2 スマホで見れるPDF作成

keynote-study.com

【Keynoteファイルをスマホで閲覧する方法を解説します】

【仕事の活用法】

例えば・・・Keynoteで作成した資料の内容を、上司に確認して欲しい場合に、スマートフォンが便利です。しかし、スマホはiPhoneとAndroidの二種類がありインストールされているアプリも人によって違います。相手のスマホに合わせたデータ形式を紹介します。

【Keynoteデータをスマホで閲覧する方法①】



【スマホで閲覧①：iPhone編】

- ・ iPhoneならメールに添付されたKeynoteファイルをそのまま閲覧できます。
- ・ 更にiPhone版Keynoteアプリをインストールすることで編集も可能になります。
- ・ iPhoneとKeynoteは同じApple社から提供されています

【Keynoteデータをスマホで閲覧する方法②】



【スマホで閲覧②：Android編】

- Androidは、Keynoteファイルをそのままでは閲覧できません。
- 渡す前にKeynoteファイルをPDF形式で変換して渡すことで閲覧が可能になります
- Android用アプリにKeynoteは提供されていないので、編集することはできません。

【KeynoteファイルをPDF形式に保存する方法】

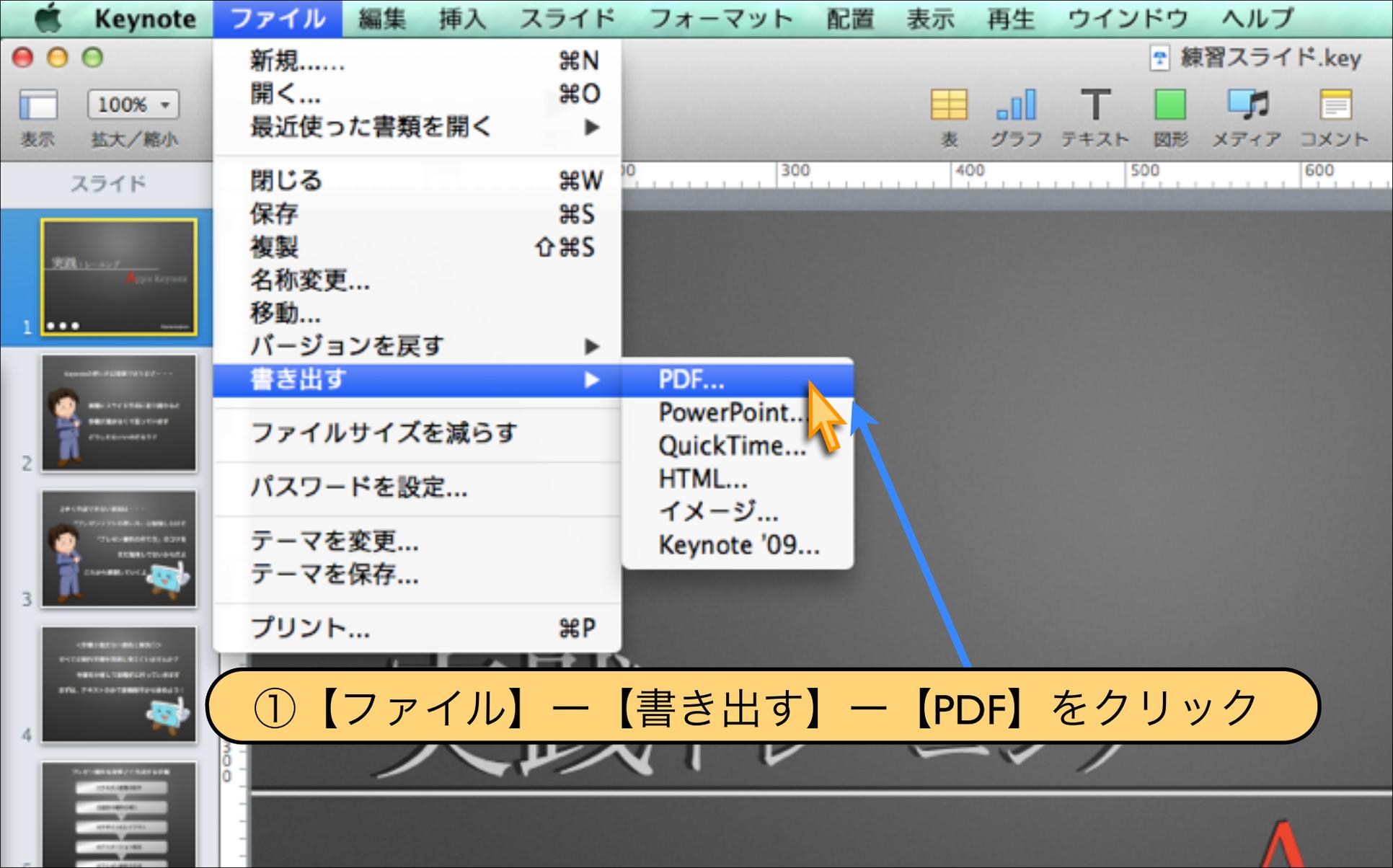
①作成済みのスライドを用意しました

実践トレーニング

Apple Keynote

【POINT：PDFファイル形式のメリット・デメリット】

- ・どの端末でも、レイアウトが崩れることはありません。
- ・アニメーションは削除され、スライドのみの閲覧です。
- ・PDFに書き加えるには、専用アプリが必要です。



① 【ファイル】 — 【書き出す】 — 【PDF】 をクリック

① 「プレゼンテーションを書き出す」 ウィンドウが表示されました

プレゼンテーションを書き出す

PDF PowerPoint QuickTime HTML イメージ Keynote '09

カスタマイズしたレイアウト設定で PDF を作成するには、“ファイル”>“プリント”と選択します。

発表者ノートを含める スキップしたスライドを含める

ビルドの各段階をプリント

イメージの品質： 標準

開くときにパスワードを要求

キャンセル 次へ...

② 必要な項目があればクリックで
チェックマークを入れます

③ 【次へ】 をクリック

① 「ファイル名」と「保存先」を指定します

名前: 練習スライド.pdf

タグ:

デスクトップ

よく使う項目

アプリケーション

デスクトップ

書類

ダウンロード

ムービー

ミュージック

ピクチャ

デバイス

②今回は、デスクトップに
「練習スライド」で保存します

【注意】ファイル名の後の
「.pdf」を誤って削除しないように

新規フォルダ

キャンセル

書き出し

③【書き出し】をクリック



再生



表



グラフ



テキスト



図形



メディア



コメント



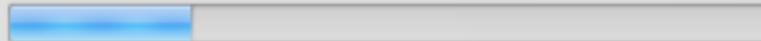
共有



ヒント



PDF ファイルを作成中...



キャンセル

①PDFファイルが作成されていきます

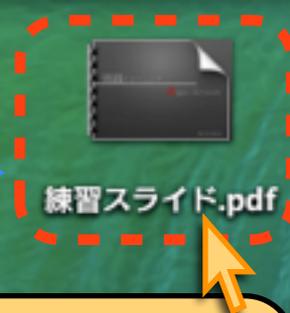
②ウィンドウが消えたら、作成完了です

実践トレーニング

Apple Keynote

① デスクトップ画面を表示します

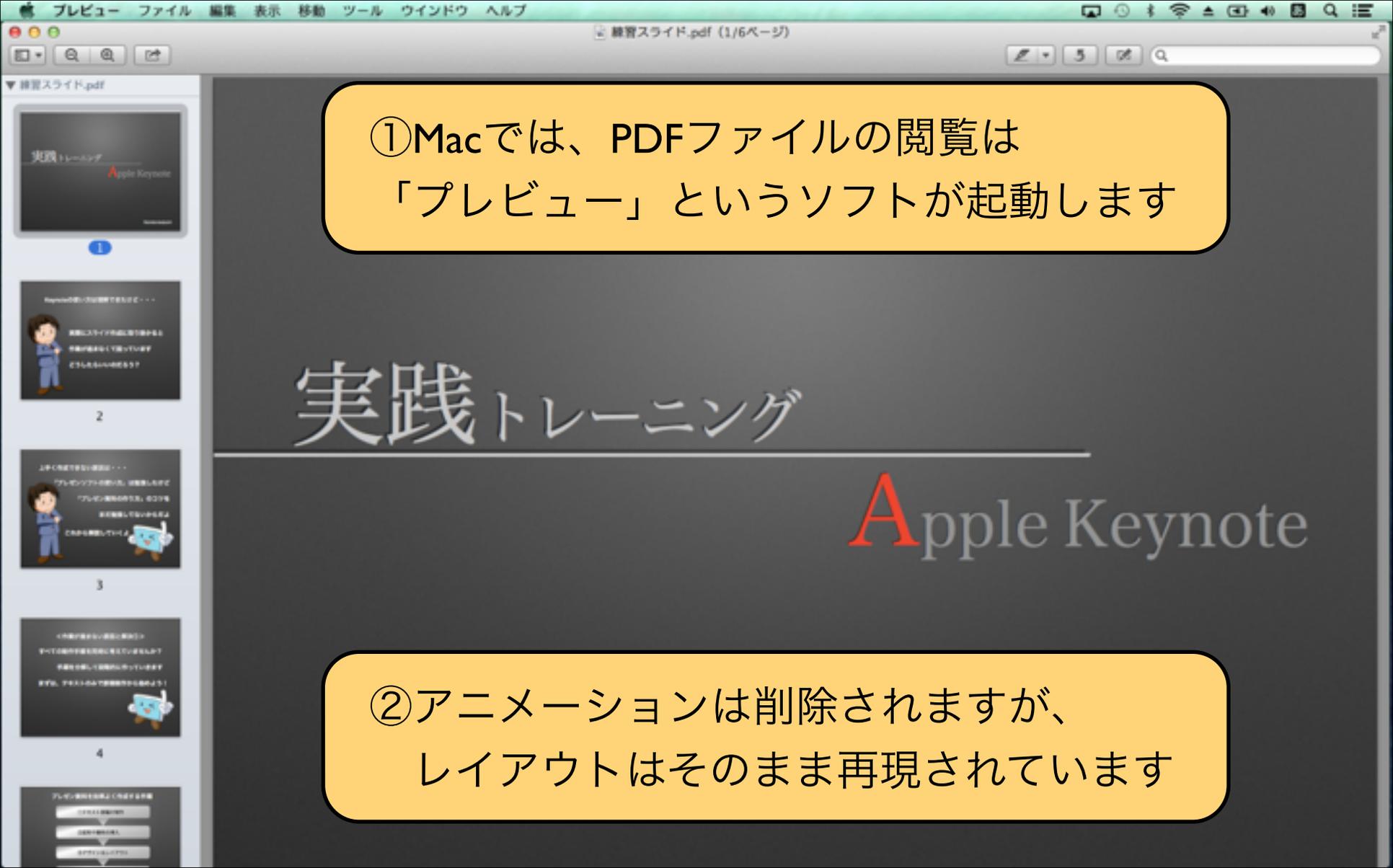
② 「練習スライド.pdf」が作成されました



③ ファイルをダブルクリックすると
ファイルの中身が確認できます

【スマホの仕組み解説】

ファイル名の後「.pdf」はPDF形式のファイルを示す「拡張子」（かくちょうし）と呼ばれる部分です。スマホやWindowsでは、この拡張子を判断してPDF形式に対応したアプリでファイルを開きます。



①Macでは、PDFファイルの閲覧は「プレビュー」というソフトが起動します

実践トレーニング

Apple Keynote

②アニメーションは削除されますが、レイアウトはそのまま再現されています

①PDF形式のファイル作成は完了です

②メールの添付ファイルでスマートフォンへ送信しましょう

【POINT】

Androidだけでなく、iPhone、WindowsでもPDFファイルは機種に関係なく閲覧できます。スライド内容を確認して欲しい相手側の端末がわからない場合には、PDF形式は便利です。

【他の人とのデータのやり取り】



Keynoteデータを、他の人とやりとりする場合は、

- ・ 内容の編集が必要な場合は、PowerPoint形式
- ・ 確認のみでOKなら、PDF形式

目的と相手の環境に合わせて選択しましょう